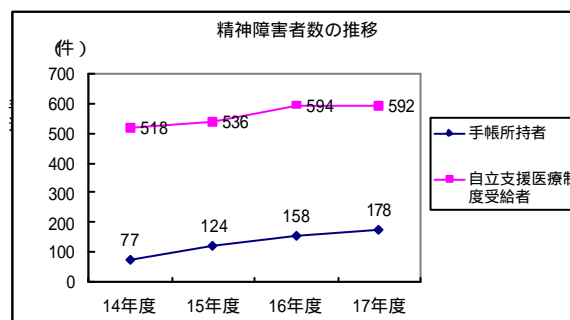
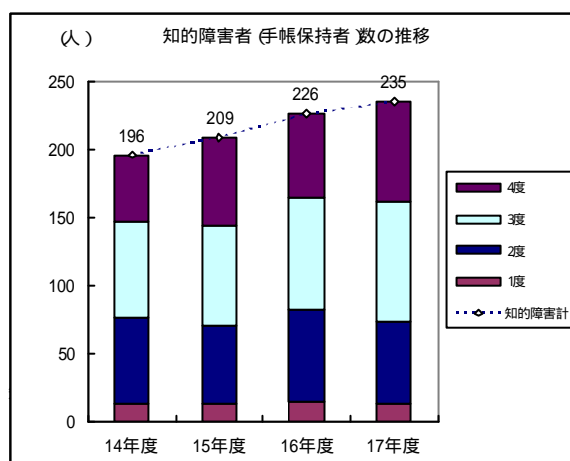
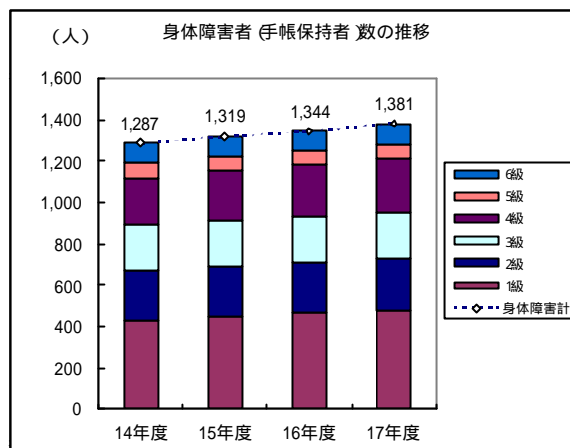


障害者福祉施策

障害者数の推移

身体障害者	年度	14年度	15年度	16年度	17年度
	全体	1,287	1,319	1,344	1,381
	1級	429	445	465	477
	2級	241	241	246	247
	3級	222	227	217	223
	4級	227	245	251	266
	5級	77	68	68	67
	6級	91	93	97	101
知的障害者	年度	14年度	15年度	16年度	17年度
	全体	196	209	226	235
	1度	13	13	14	13
	2度	63	58	68	61
	3度	71	73	82	87
	4度	49	65	62	74
精神障害者	年度	14年度	15年度	16年度	17年度
	手帳所持者	77	124	158	178
	自立支援医療制度受給者	518	536	594	592

* 各年度3月31日現在



1 心身障害者福祉手当（市制度分）

対象者数、手当支給金額

	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
対象者（延人数）	4,758	4,649	4,616	4,638
手当支給金額	58,501,000	56,582,500	56,183,000	56,447,000

他市の実施状況（平成 18 年 4 月アンケート調査結果）

市 名	実施の有無	対象者・支給額（月額）
八王子市	×	
立川市		身体 3・4 級、知的 4 度 4,500 円、身体 5.6 級 4,000 円
武蔵野市		身体 3・4 級、知的 4 度 11,000 円
三鷹市		身体 3・4 級、知的 4 度 4,000 円
青梅市		身体 3 15,500 円、身体 4 級・知的 4 度 6,000 円
府中市		身体 3・4 級、知的 4 度 7,000 円
昭島市		身体 3・4 級、知的 4 度 4,000 円
調布市		身体 3・4 級、知的 4 度 6,000 円
町田市		身体 3・4 級、知的 4 度 4,000 円
小金井市		身体 3・4 級、知的 4 度 6,500 円、身体 5.6 級 1,500 円
小平市		身体 3・4 級、知的 4 度 7,750 円
日野市		身体 3・4 級、知的 4 度 8,000 円
東村山市		身体 3・4 級、知的 4 度 7,000 円
国分寺市		身体 3・4 級、知的 4 度 5,400 円
国立市		身体 3・4 級、知的 4 度 11,500 円
福生市		身体 3 7,000 円、身体 4 級・知的 4 度 6,000 円
狛江市		身体 3・4 級、知的 4 度 5,400 円
東大和市		身体 3・4 級、知的 4 度 6,100 円
清瀬市		身体 3・4 級、知的 4 度 4,000 円
東久留米市		身体 3・4 級、知的 4 度 4,000 円
武蔵村山市		身体 3・4 級、知的 4 度 7,700 円
多摩市		身体 3・4 級、知的 4 度 8,000 円
稲城市		身体 3・知的 4 度 12,500 円、身体 4 級 5,000 円
あきる野市		身体 3・4 級、知的 4 度 7,000 円
西東京市		身体 3・4 級、知的 4 度 5,500 円

2 移送サービス事業

登録者数、延利用者数

	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
障害登録者数	58	59	55	64
延利用者数	1,048	1,232	1,311	1,266
要介護者 登録者数	27	30	38	44
延利用者数	304	316	366	522

他市の実施状況（平成 18 年 6 月アンケート調査結果）

市名・事業名	実施の有無	実施内容
青梅市 ハンディキャブ 運行事業補助事業		実施団体 青梅市社会福祉協議会 対象者 在宅歩行困難者 運転日 月曜日～土曜日 運転時間 9:00～16:00 運転地域 片道30km以内 利用者負担 年間2,000円、有料道路代 駐車料金 運転手 協力員 車両台数 1台
東村山市 移送サービス事業		実施団体 東村山市社会福祉協議会 対象者 在宅の車いす利用者 運転日 月曜日～土曜日 運転時間 9:00～17:00 運転地域 市内及び半径30km以内 利用者負担 有料道路代、駐車料金 運転手 専任運転手3名 車両台数 3台

<p>福生市 在宅移送サービス</p>		<p>実施団体 福生市社会福祉協議会 対象者 心身障害者、体の不自由な者 運転日 毎日（祝・祭日除く） 運転時間 9：00～16：00 運転地域 近隣市町 利用者負担 燃料費、有料道路代、駐車料金 運転手 専任運転手登録ボランティア 23名 車両台数 3台 平成18年9月から福祉有償運送 利用料は一律500円</p>
<p>東大和市 福祉バス 「あおぞら号」 運行事業</p>		<p>実施団体 東大和市社会福祉協議会 対象者 身障の車いす利用者 運転日 月曜日～金曜日 運転時間 8：30～17：00 運転地域 半径20km以内 利用者負担 市内：片道500円、 市外：10km以内片道800円、 20km以内片道1,500円 運転手 協力会員7名 車両台数 1台 平成18年度廃止 廃止の理由：他の事業者の福祉有償運送が肩代わりができる</p>
<p>あきる野市 移送サービス</p>		<p>実施団体 あきる野市社会福祉協議会 対象者 高齢者、障害者で歩行困難者 運転日 月曜日～金曜日 運転時間 9：00～17：00 運転地域 市内 利用者負担 1時間700円 高齢者・障害者同額 平成18年から1時間800円 運転手 運転協力員 車両台数 8台</p>

3 緊急通報システム事業

設置台数、協力員数

	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
設置台数	6	3	5	5
協力員数	9	6	11	11

他市の実施状況

市 名	設置台数	協力員数	対 象 者	自己負担の有無
八王子市	0	0	18 歳以上の 1 人暮らし等の重度身体、難病	×
立川市	33	60	18 歳以上の 1 人暮らし等の重度身体、難病	
武蔵野市	8	1	身体 1～4 級（条件有り）	×
三鷹市	13	19	18 歳以上の 1 人暮らし、障害者のみ世帯身体 1・2 級、難病	×
青梅市	1	2	18 歳以上 65 歳未満の 1 人暮らし等の身体 1・2 級	×
府中市	19	27	18 歳以上の 1 人暮らし等の重度身体でアナログ回線の電話使用	×
昭島市	6	10	18 歳以上の 1 人暮らし等の重度身体、難病	×
調布市	11	22	18 歳以上の重度身体	×
町田市	2	5	1 人暮らしの重度身体で緊急対応が必要な者	
小金井市	1	1	18 歳以上の 1 人暮らしの重度身体、難病	
小平市	2	6	18 歳以上の 1 人暮らし等の重度身体、難病	×
日野市	22	38	身体、知的、難病（条件有り）	×
東村山市	21	56	1 人暮らし等の身体 1・2 級、難病	
国分寺市	2	6	18 歳以上の 1 人暮らし等の重度身体	
国立市	11	16	1 人暮らし等の身体 1 級、難病	
福生市	6	21	1 人暮らし等の重度身体、難病	
狛江市	15	-	18 歳以上の聴覚 1・2 級	×
東大和市	4	3	18 歳以上の 1 人暮らしの身体、特殊疾病	
清瀬市	11	25	18 歳以上の 1 人暮らし等の重度身体	×
東久留米市	-	-	実施していない	-
武蔵村山市	6	7	18 歳以上の 1 人暮らし等の重度身体、難病	
多摩市	-	-	実施していない	-
稲城市	4	6	18 歳以上の 1 人暮らし等の重度身体	
あきる野市	-	-	実施していない	-
西東京市	21	36	18 歳以上の 1 人暮らし等の重度身体	×

自己負担有の市は対象者の所得階層による費用負担を定めています。その階層基準は『東京都の「更正医療の給付又は補装具の交付若しくは修理を受ける者の負担すべき額の認定方法について」に定める補装具の例により算定された額』を採用しています。

4 心身障害者手帳交付申請に伴う診断書料助成

助成人数、助成金額

	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
助成人数	125	120	112	116
助成金額	485,225	449,700	415,000	449,950

他市の実施状況（平成 18 年 6 月アンケート調査結果）

市 名	実施の有無	給付額（限度額）
八王子市	×	平成 14 年度廃止
立川市	×	平成 15 年度廃止
武蔵野市		10,000 円
三鷹市		実額の 2 分の 1（一部所得制限有り）
青梅市	×	平成 15 年度廃止
府中市		5,000 円
昭島市	×	平成 14 年度廃止
調布市		5,000 円（廃止を検討中）
町田市	×	平成 15 年度廃止
小金井市		3,000 円
小平市	×	
日野市	×	平成 12 年度廃止
東村山市	×	平成 11 年度廃止
国分寺市		4,200 円
国立市	×	
福生市	×	平成 15 年度廃止
狛江市	×	平成 16 年度廃止
東大和市	×	
清瀬市	×	
東久留米市	×	
武蔵村山市		5,000 円
多摩市	×	平成 14 年度廃止
稲城市	×	平成 13 年度廃止
あきる野市		4,000 円
西東京市	×	平成 17 年度廃止

5 補装具等自己負担助成事業

補装具交付・修理状況

(単位：円)

		平成 15 年度		平成 16 年度		平成 17 年度	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
児 童	交付	103	531,321	154	607,800	168	629,916
	修理	58	164,795	134	156,653	59	124,624
計		161	696,116	288	764,453	227	754,540
成 人	交付	617	1,564,518	658	1,575,960	749	1,883,146
	修理	65	172,402	269	365,524	113	232,089
計		682	1,736,920	927	1,941,484	862	2,115,235

羽村市重度心身障害者(児)日常生活用具給付事業

(単位：円)

	平成 15 年度		平成 16 年度		平成 17 年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
日常生活用具	32	169,920	39	186,450	29	172,350

羽村市重度身体障害者(児)住宅設備改善費給付事業

(単位：円)

	平成 15 年度		平成 16 年度		平成 17 年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
小規模改修	3	3,120	3	26,770	1	17,850
中規模改修	3	0	2	3,800	1	0
屋内移動設備	0	0	1	16,200	0	0

26 市自己負担助成実施状況

	実施	補 装 具	実施	日常生活用具	実施	住 宅 改 修
八王子市		非課税世帯のみ自己負担額の50%を助成。		1割の負担。ストマ用装具のみ非課税世帯は自己負担額の半額を助成	×	1割負担
立川市		18年度中は自己負担額を助成。19年度で再検討。		18年度中は自己負担額を助成。19年度から1割負担。		18年度中は自己負担額を助成。19年度から1割負担。
武蔵野市		補装具費の軽減措置あり。(市独自の「武蔵野市シート」を利用)		市民税所得割非課税以下の世帯 5% 市民税所得割課税世帯 10% (ストマ用装具について「武蔵野シート」を利用)	×	1割負担
三鷹市		市民税所得割非課税世帯について全額、それ以外の世帯については自己負担の50%を助成する予定。		1割負担。市民税所得割非課税世帯については5%の負担。ストマは市民税所得割非課税世帯負担なし、それ以外は5%の負担。		1割負担。市民税所得割非課税世帯については5%の負担。
青梅市	×		×	1割負担	×	1割負担
府中市		本人負担1割について、負担上限月額まで助成予定(21年3月まで)		1割負担。ただし、21年3月までは、激変緩和措置として自己負担分も全額助成。	×	1割負担。ただし平成19年度以降、都補助が廃止であれば廃止する予定。
昭島市	×		×	1割負担	×	1割負担
調布市		課税(均等割)5%、非課税3%、生保0円まで減免		課税1割、課税(均等割)5%、非課税3%、生保0円。		課税1割、課税(均等割)5%、非課税3%、生保0円
町田市	×		×	1割負担	×	1割負担
小金井市		非課税5%、生保0円まで減免。		課税1割、非課税5%、生保0円。 ストマ用装具については、課税(所得割2万未満)5%、非課税3%、生保0円まで減免。		課税1割、非課税5%、生保0円。
小平市	×		×	1割負担	×	1割負担
日野市		課税(所得割2万未満)および非課税世帯は自己負担分の5%に減免。(生保を除く)。		1割負担。ストマ用装具については課税(所得割2万未満)および非課税世帯は自己負担分の5%、生保は0円に減免。	×	1割負担
国分寺市		低1・低2の方は、18年は3%、19年は5%、20年は7%に減免する。		1割負担。ストマ用装具のみ、自己負担の50%を助成する(課税・非課税問わず)。		低1・低2の方は、18年は3%、19年は5%、20年は7%に減免する。
国立市		18年度中は、対象範囲を限定した上で、自己負担額の1/2を助成。19年4月から1割負担を導入することも検討中。		18年度中は自己負担を助成。19年4月からについては検討中。		18年度中は自己負担を助成。19年4月からについては検討中。
福生市	×		×	1割負担	×	1割負担
狛江市	×			原則1割、21年3月まで経過措置として、課税世帯5%、非課税3%に減免。		原則1割、21年3月まで経過措置として、課税世帯5%、非課税3%に減免。
東大和市		18年度中は補装具の自己負担を全階層、全額補助。19年4月から1割負担を導入することを検討中。		18年度中は自己負担を助成。19年4月からは原則1割負担。ストマ装具のみ低所得1は3%、低所得2は5%に減免。		18年度中は自己負担を助成。19年4月からは原則1割負担。
清瀬市	×			原則1割。ストマ用装具は生保区分以外の各区分で5%に減免。	×	1割負担
東久留米市	×		×	1割負担	×	1割負担
武蔵村山市		18年度中は自己負担額を全額助成。19年4月から1割負担を導入することを検討中。		1割負担。ストマ用装具は一律自己負担全額助成。	×	応能負担
多摩市		18年度中は自己負担額を全額助成。19年4月から21年3月までは5%負担とする。ただし、平均所得(老健基準)未満の世帯については無料。		1割負担。ただし、21年3月までは、平均所得(老健基準)未満の世帯については無料。		1割負担。ただし、21年3月までは、平均所得(老健基準)未満の世帯については無料。
稲城市	×			1割負担。生活保護は無料。ストマ用装具のみ非課税世帯も無料。	×	1割負担
あきる野市	×		×	1割負担	×	1割負担
西東京市	×			1割負担。ストマ用装具については、低2は5%、低1は3%とする。	×	1割負担。上限額の設定は検討中。
東村山市	×			1割負担。ストマ用装具のみ非課税世帯は5%。2年間の経過措置として、非課税世帯は3%、均等割のみ課税世帯5%。	×	1割負担
羽村市		18年度中は自己負担助成を継続。19年度以降は、福祉施策審議会の答申をもって検討予定。		18年度中は自己負担助成を継続。19年度以降は、福祉施策審議会の答申をもって検討予定。		18年度中は自己負担助成を継続。19年度以降は、福祉施策審議会の答申をもって検討予定。
		・・・市独自軽減策 有り		×・・・市独自軽減策 無し		

6 水道・下水道使用料助成事業

助成世帯数、助成金額

	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
助成世帯数（上水道）	527	556	556	596
助成世帯数（下水道）	523	552	552	592
助成金額	5,417,874	5,724,810	6,075,846	6,303,402

他市の実施状況

市 名	実施の有無	対象者・助成額
八王子市	×	
立川市	×	
武蔵野市	×	
三鷹市	×	
青梅市	×	
府中市	×	
昭島市	×	
調布市	×	
町田市	×	
小金井市	×	
小平市	×	
日野市	×	
東村山市	×	
国分寺市	×	
国立市	×	
福生市	×	
狛江市	×	
東大和市	×	
清瀬市	×	
東久留米市	×	
武蔵村山市	×	
多摩市	×	
稲城市	×	
あきる野市		身体1・2級、知的1・2度の方のいる住民税非課税世帯 基本料金助成（最大20口径まで）
西東京市	×	

7 交通災害共済掛金助成事業

助成人数、助成金額

	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
助成人数	754	758	767	794
助成金額	375,300	385,800	389,900	395,400

他市の実施状況

市 名	実施の有無	助成範囲
八王子市		掛金無料（身体手帳、愛の手帳、精神手帳所持者）
立川市	×	
武蔵野市		掛金無料（身体手帳、愛の手帳、精神手帳所持者）
三鷹市	×	
青梅市	×	
府中市		掛金無料（身体手帳 1～3 級、愛の手帳 1～3 度）
昭島市	×	
調布市	×	平成 17 年度廃止
町田市	×	
小金井市	×	
小平市	×	
日野市		掛金無料（身体手帳、愛の手帳所持者）
東村山市	×	
国分寺市	×	
国立市	×	
福生市	×	
狛江市	×	
東大和市	×	
清瀬市	×	
東久留米市	×	
武蔵村山市	×	
多摩市	×	
稲城市		掛金無料（身体手帳、愛の手帳、精神手帳所持者）
あきる野市	×	
西東京市	×	

* 実施市の助成範囲は、いずれもB コースである。